



公共交通だより



絶景の棚田百選めぐり 伊賀盆地を望む西山の棚田ウォーク

関西本線木津亀山間活性化同盟会では、JR 関西本線利用促進のためのウォークイベントを開催します。伊賀上野駅を起点に、新緑の木津川の風景を眺めながら、国指定棚田地域である西山の棚田群をめざします。

【と き】 5月17日(土)

午前9時～午後3時30分頃

(受付：午前8時30分～)

※雨天決行(当日午前6時に伊賀市内に気象警報が発表されている場合は中止)

【集合場所】 JR伊賀上野駅前

【コース】 約13km(健脚向け)

JR伊賀上野駅(集合)→上野遊水地→岩倉峡公園→古琵琶湖層→西山の棚田展望公園→西山こども広場(昼食休憩)→高倉神社→和銅の道→JR伊賀上野駅(解散)



【定員】 先着100人

※小学生以下は保護者同伴

※動きやすい服装で弁当・飲み物持参

【申込方法】 申込フォーム・電話

【申込期間】

4月7日(月)午前9時～5月9日(金)午後5時

【申込先・問い合わせ】

関西本線木津亀山間活性化同盟会(公共交通課)

☎22-9663(平日午前9時～午後5時)



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

ユネスコ無形文化遺産

「瀧樹神社のケンケト踊り」開催

甲賀市で初めてユネスコ無形文化遺産に登録された「ケンケト踊り」が土山町の瀧樹神社で行われます。

五穀豊穡や無病息災を願い、孔雀や山鳥などの羽で作られたシャガマを被った子どもたちが、太鼓や笛・鉦の音に合わせて踊りを披露します。

甲賀市に根付く伝統文化をぜひご覧ください。

【と き】 5月3日(土・祝)

【ところ】 瀧樹神社(甲賀市土山町)とその周辺

【問い合わせ】

甲賀市歴史文化財課 普及活用係
☎0748-69-2252



亀山市

東野公園チビッコ広場 リニューアル!

東野公園チビッコ広場の遊具をリニューアルし、インクルーシブの考えを取り入れたブランコや複合遊具、クッション遊具などを設置しました。家族で楽しめる公園施設になっていますので、ぜひ遊びに来てください。



【ところ】 東野公園チビッコ広場
(亀山市川合町1286-49)

【アクセス】

名阪国道「亀山IC」から車で約10分

【問い合わせ】

亀山市都市整備課市街地整備グループ
☎0595-84-5099

伊賀城和
定住自立圏
— IGAJOWA —

伊賀城和(伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース



【問い合わせ】 未来政策課

☎22-9620 FAX22-9672

✉miraiseisaku@city.iga.lg.jp



地域の未来を支える 定住自立圏の取り組み

◆定住自立圏構想とは

定住自立圏構想とは、「中心市」の都市機能と「連携自治体」の魅力を活用して相互に役割分担し、連携・協力することで、圏域に暮らす全ての住民が幸せを実感できる地域にするとともに、地方圏への定住を促進するための取り組みです。

◆「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」のあゆみ

伊賀市が2015年6月に中心市を宣言し、2016年10月に京都府笠置町、南山城村と定住自立圏を形成しました。その後、2019年に奈良県山添村、2024年に名張市が連携自治体として加わり、現在では3府県をまたぐ全国的にもめずらしい圏域となっています。

◆圏域を構成する5市町村

自治体名	人口(人)	面積(km ²)
伊賀市	84,451	558.23
笠置町	1,063	23.52
南山城村	2,374	64.11
山添村	3,049	66.52
名張市	74,154	129.77
合計	165,091	842.15

※人口は2025(令和7)年1月末もしくは2月1日住民基本台帳人口、面積は2020(令和2)年国勢調査の数値を用いています。



◆圏域の将来像

連携の基本イメージとして、『水と歴史でつながる圏域』を掲げ、次の2つの視点により取り組みを推進していきます。

圏域でつながり、暮らしの安心を支える

医療体制や子育て支援、防災体制、働く場所の確保、地域公共交通体制の構築など、地域で暮らす生活基盤の確保・充実を図り、住み続けたい地域で暮らせる圏域をめざします。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するとともに、持続可能な開発目標(SDGs)を意識した住み良い圏域をめざします。

活発な交流により、賑わいを創出する

伊賀市、笠置町、南山城村、山添村、名張市がもつ地域資源、また、地域に暮らす人材の交流などにより、圏域全体で多様な資源の魅力を高め、賑わいの創出をめざします。特に幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド(圏域の誇り・自尊心)の醸成をめざします。